

【大要】

平成26年12月定例会会議録

(平成26年12月18日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 12月定例会会議録

- 【開催日】 平成26年12月18日（木）
- 【場所】 八代市役所 3階31号会議室
- 【出席委員】 高浪 智之 委員長
小嶋 ひろみ 委員
倉野 敏郎 委員
松永 松喜 委員
広崎 史子 教育長
- 【出席職員】 北岡 博 教育部長
中田 正春 教育部次長
増住 眞也 教育部次長
塚副 徹 教育部首席審議員兼学校教育課長
塘内 正義 学校教育課審議員
桑田 謙治 教育総務課長
有馬 健一 教育施設課長
宮崎 和喜 生涯学習課長
樋口 昭彦 教育サポートセンター所長
濱田 大祐 図書館館長
福原 透 博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 丸山 尊司 教育総務課長補佐兼総務係長
北田 優子 教育総務課総務係参事
相澤 由美子 教育総務課総務係主任
- 【傍聴人】 1人
- 【審議事項】 <報告案件>
・報告第18号 八代市議会平成26年12月定例会一般質問
要旨及び答弁について
・報告第19号 単式学級継続の要望に対する回答について
・報告第20号 学校支援職員の労働条件について

(午前9時54分開会)
- 【発言要旨】
委員長 「開会宣言」
委員長 「前回会議録の承認」
[採決] 承認

委員長 「報告第18号 八代市議会平成26年12月定例会一般質問要旨及び答弁について」

教育部長 （「報告第18号 八代市議会平成26年12月定例会一般質問要旨及び答弁について」説明）

委員長 質疑・意見等を求める。

倉野委員 資料の15ページの「薬物及び危険ドラッグ乱用防止」について問題が起きたときに、教育委員会として学校教育課を通じて各学校の児童生徒やその保護者に対しての指導は徹底すると思うが、こうした問題は市民の認識を高める必要があり、社会教育の分野で指導徹底を図ることが非常に大事だと思うが、その分野での指導はどうなっているのか。それから17ページの「地産地消」についての推進を図るため、月2回、青果物査定会を開いて地場産物の調達を検討するようになされているようだが、調理場でこうした意見を取り入れていくには、栄養職員の意見が非常に大きく影響すると思うが、どのような指導を実際に行っているのか。

生涯学習課長 危険ドラッグについては人権政策課が今のところ主体となってやっている。ただ、情報共有ということで、青少年センターからの情報を「公民館だより」等を通じて市民に啓発している。

教育部長 市民協働部長から、本市の取組として法務省の提唱事業「社会を明るくする運動」の一貫として八代地区保護司会と連携し市内の高校校門前での薬物乱用防止のちらし配布、声かけ運動、八代地区薬物乱用防止協議会が市内大型ショッピングモールで行う薬物乱用防止キャンペーン、ライオンズクラブが市内全中学校正門前で実施するキャンペーンに参加し、広報啓発活動ならびに情報交換を実施しているほか、人権政策課の青少年室で年4回発行している「青少年だより」に、危険ドラッグを含めた薬物乱用防止に関する記事を掲載し、小・中・支援学校・高等学校等へ配布するとともに学校・公共施設に掲示し、青少年に対し啓発情報提供に努め、今後も警察、保健所などの関係機関をはじめ、八代地区保護司会、青少年指導連絡協議会、八代地区薬物乱用防止協議会とより一層連携して広報に努めていくという答弁があっている。

倉野委員	こういう指導は、効果が出るまでは相当な回数を踏まなければうまくいかないと思う。学校には何々教育とか非常に負担が来て効果があがりにくいので、市民に徹底することがやはり即効性があるのではないか。各学校で行われるPTA総会や地域の集まりのような機会を通じて指導の徹底を図るといようなことを検討いただきたい。
教育部長	市民協働部あたりで広く行っていると思うので伝えたい。
委員長	毎月、公民館から送られる活動の日程などの目につくところに掲載するなどの啓発を検討したらどうか。
生涯学習課長	定期的に情報を流しているの、その中に入れ込みたい。
教育総務課長	学校給食における食育指導、地産地消について一番キーとなるのが栄養教諭、学校栄養職員だと思う。青果物査定会においても地場産の推進をお願いするとともに、毎月19日に「ふるさと元気っこメニュー」という形で八代地域地場産の食材を使った献立を実施するなど可能な限り地場産の推進を行い、栄養教諭、学校栄養職員の意識もかなり高いと感じているが、今後もさらに推進していきたい。
委員長	「報告第19号 単式学級継続の要望に対する回答について」
学校教育課審議員	(「報告第19号 単式学級継続の要望に対する回答について」説明)
委員長	質疑・意見等を求める。
教育長	学級編制は県の基準に沿って施行しており、法律改正により、各市町村自ら教職員を任用できる制度に変わっているが、複式学級解消のための教員採用を恒常的に実施するのは財政的な事情から困難な状況にあるという主旨の回答である。地域の要望はしっかりと受け止めながらも、市単独での教員採用は困難な状況にあるので、引き続き県に対して、複式学級解消のための特別配置をお願いしていくとともに、各学校の教育を充実させていきたいと考えている。
委員長	八代市に複式学級は他にもあったと思うが、このような要望書は今までなかったのか。
学校教育課審議員	今年度はあっていない。

- 教育部首席審議員
兼学校教育課長 泉第一小学校が泉小学校に統合される前に複式学級になった際に議員から1人増やして単式にできないかという要望があったが、先ほどと同じような答弁をして複式でやっている。
- 倉野委員 要望書に平成28年度以降児童が増加の傾向にあるということだが、人数がどう変わっていくのか把握はしているのか。
- 学校教育課審議員 町内ごとの出生数を元にカウントし、八千把小学校浜分校の平成27年度の見込みが7名、28年度が7名、29年度が9名、30年度が11名である。鏡・八代の幹線道路も通り、近くに大きな造成区域もあることなども含めて児童数の増加が見込まれるという表現ではないかと思う。
- 小嶋委員 統合審議会等で統合のことも話をしていると思うが、浜分校の方々はずっと反対という姿勢でおられるのか。
- 学校教育課審議員 事前説明会で保護者及び地域住民は、浜分校をそのまま残してほしいという強い気持ちを持っておられた。
- 教育部長 地域から出された要望は、統合というのとは別な観点で単式学級をとという要望だととらえている。
- 委員長 「報告第20号 学校支援職員の労働条件」
- 教育部首席審議員
兼学校教育課長 （「報告第20号 学校支援職員の労働条件について」説明）
- 委員長 質疑・意見等を求める。
- 小嶋委員 生徒指導員が1人減ることになっているが、「人数減は落ち着いたの見られた学校があるため」とは、生徒指導員がいていい状態になったから、いなくても大丈夫という判断なのか。
- 教育部首席審議員
兼学校教育課長 各学校において、生徒指導員や学校の努力等ですいぶん落ちてきて、生徒指導員よりも特別支援教育支援員の方がほしいというところがあったので、そちらを1名減して特別支援教育支援員を増やすような状況等も考えている。
- 小嶋委員 もう少し学校の先生方が特別支援のことを学ぶことで、もっと支援員を効率よく活用できると思う。そうしないとすべて支援員頼りになり、これからもどんどん要望が増えてくるのではないかと心配している。

- 教育部首席審議員 兼学校教育課長 一人一人にどう関わっていくのか、各学校において校内研修等により力量等を高め、また、特別支援教育支援員との連携もなされている。
- 松永委員 特別支援教育支援員と生徒指導員の時給が現行より若干安く なっていることについて説明願う。
- 教育部首席審議員 兼学校教育課長 今まで身分保障がなかったということで少し高めにしており、それを八代市の非常勤職員、他市町村の特別支援教育支援員や生徒指導員と合わせてこの額にしている。
- 倉野委員 改正理由の中の「学校が落ち着いてきた」というのは、学校が荒れていたのが落ち着いてきたというふうに考えるが、この生徒指導員が学校の荒れを改善するために実際に関わられたのか。不登校やいじめ云々を中心に関わるのであれば、学校の荒れの改善のために生徒指導員が力を発揮したということは考えられないが、荒れを正常なかたちにもって行きたいという時に、支援職員のどの担当がそれにあたっていくのか。
- 教育部首席審議員 兼学校教育課長 生徒指導員は、不登校、問題行動等の子ども達に関わっている。問題行動等を起こす子ども達が教室に入って授業が成り立たないような場合に、別室でその子ども達に学習支援をしたり、不登校については、家庭訪問や、登校しても教室には入れない子ども達に別室で学習支援をしたりというような状況があった。「落ち着いてきた」と書いているのは、そういう状況に改善傾向がみられ、生徒指導員よりも特別支援教育支援員の方がほしいという学校が出てきたので1名減としている。また、生徒指導員に関わるのは、管理職も含め生徒指導関係の生活指導関係及び養護の先生が関わっている。
- 倉野委員 生徒指導員の改正理由の「学校が落ち着いてきた」という表現を変える必要があると思うがいかがか。
- 教育部首席審議員 兼学校教育課長 検討したいと思う。
- 委員長 「連絡事項」
- 教育部首席審議員 兼学校教育課長 ・八代市ジュニア友好派遣団（中国北海市へ派遣）について

- 生涯学習課長
- ・まなびフェスタについて
 - ・平成27年八代市成人式について
- 事務局
- ・教育行政先進地視察研修について
 - ・1月定例会の開催予定について
1月14日（水）午前10時
- 委員長
- 「会議録署名委員の指名」
倉野委員、小嶋委員を指名する。
- 委員長
- 「閉会宣言」

(午前11時16分閉会)